



令和元年 議会報告・意見交換会の様子

## ◆◆議会報告・意見交換会について◆◆

今年も残すところ、あと1か月余りとなりました。

本来であれば、議会報告・意見交換会を開催し、市民の皆さんに直接ご意見等を伺うところではありますが、新型コロナウイルス感染症に伴う度重なる緊急事態宣言によりタイミングが合わず、予定していた議会報告・意見交換会を開催できておりません。

代替措置として、現在行われております市政懇談会において、議会運営小委員会のメンバーがどの会場においても必ず出席するよう配置しており、聞き取りした上で、皆さんから発信されたご意見を一般質問等で活かせるよう全体共有をしております。

また、その他にも市民の皆さんからのご意見・ご要望をEメールやFAXなど書面で常時受け付けしますのでお気軽にご連絡ください。

もう一つの手段として、感染リスクを抑えた上で各団体に議会が出向き、小グループで意見聴取の場を設けられるよう検討しておりますので、その際はご協力よろしくお願いたします。

【問合先】三笠市議会事務局

〒068-2192 三笠市幸町2番地 ☎②3194 Fax②7880

▶Eメール [gikai@city.mikasa.hokkaido.jp](mailto:gikai@city.mikasa.hokkaido.jp)

9月定例会の概要

令和3年第3回定例会は、9月13日から9月22日までの10日間開催しました。

初日は、市長からの一般行政報告、条例や補正予算、決算の認定等の議案の提案説明15件が行われました。

今定例会の一般会計補正予算の総額は3億4,519万円で、新型コロナウイルス感染症に伴う経費、CO2固定研究事業や市営住宅建替改善等に要する経費が主なものです。

これらを含む補正予算、食のまちづくり基本条例の制定、市営住宅設置条例の一部改正、過疎地域持続的発展市町村計画の策定の全7件を総合常任委員会に付託及び令和2年度決算認定7件を決算特別委員会に付託して審査しました。

総合常任委員会として、食のまちづくり基本条例の制定に対する問題点や課題などを検証し、内容の一部を修正するよう動議を出しています。詳しくは下記をご覧ください。最終日には各委員長報告を行い、議長からは、最終的な討論、採決を行い、一部修正可決のほかは、原案のとおり可決されました。

修正動議で条例の一部を修正

9月定例会において審議した議案第40号の三笠市食のまちづくり基本条例について、総合常任委員会で審査・議論した結果、条例の前文中に三笠市の明治期の環境を表す文言について、「ヒゲマ」という表記を加えることが三笠の歴史をより、ほうふつさせるものと考えられるため、文言を追加すべきとの修正動議を議員が提出したものです。

議会用語の解説

●議案の修正とは、市長から提出された議案を本会議及び常任委員会で審査し、議決しますが、議案の内容に対し、議員は必要に応じて議案を修正することができ、修正案を添えた修正動議を提出することができます。

●修正動議とは、原案に対し議員が修正の提議を行うときに提出することを言います。

9月定例会の一般質問 (9月13日)



谷津 邦夫

▼石炭地下ガス化の実用化について

【質問】ヤフリー(株)から1億円の企業版ふるさと納税の申し出を受けて、企業への取り組みや国への要望など、展望をお聞かせください。

【答弁】今回の寄附はCO2固定の実験に向けて、他の企業や国へのインパクトなど大きな弾みになったので、今後の地下ガス化研究にかかる財源確保のため、引き続き企業版ふるさと納税の協力を求めながら、資源エネルギー庁やNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)に対しても支援を要請していきます。

【質問】北海道の新エネルギー導入加速化基金条例に化石燃料は入っていませんが、これ

までの対応と今後の可能性をお聞かせください。

【答弁】これまで国・道に対しCO2が実質ゼロのエネルギーを再生可能エネルギーと同等に扱うよう要望してきましたが進展はありません。国は様々な技術による水素製造を模索しているためCO2固定と地下ガス化による水素製造を三笠市モデルとして実証し、認めてもらえるよう粘り強く事業を推進します。

【その他の質問】

- ▼企業版ふるさと納税の寄付金
- ▼ゼロカーボン北海道
- ▼三笠市こころのふるさと基金条例



嶋山 幸

▼将来のまちづくりに対する計画について

【質問】現段階において、事業の優先順位を高く分類しているもの、低く分類するも

のとして示せるものはあるのかお聞かせください。

【答弁】優先順位として、既存のごみ処分場が令和9年度までの想定としていること、病院の事業についても建て替えするのも含めて検討しておりますが、どれくらいの事業費が掛かるのか、中心市街地再整備事業とも組み合わせ、何を1番優先させていけば財政的に安定した計画ができるのかを含めて検討している最中です。

【質問】大規模事業を想定する中、今後5、6年のうちに主だった基金が底をついてしまうのではないかと思うのですが、こういった試算を想定しているのかお聞かせください。

【答弁】昨年の市政懇談会時にお示ししている財政推計では、令和7年度の基金残額は31億円と見込んでいますが、今後の事業を進めていく中で最低でも10億円程度残しているよう、財源のバランスを見ながら進めていきたいと考えています。

【その他の質問】

- ▼三笠市の食(オーガニック給食導入の可能性)
- ▼公共施設の整備(空調設備整備)





浅尾 三吉

### ▼デジタル庁の創設に伴う行政デジタル化について

【質問】デジタル化の基盤となる「マイナンバーカード」について、三笠市民の取得状況や取得の取り組み等を教えてください。また、このカードの活用について、コンビニでの使用、保険証としての機能などについて三笠市の現状などお聞きかせください。

【質問】デジタル化の基盤となる「マイナンバーカード」について、三笠市民の取得状況や取得の取り組み等を教えてください。また、このカードの活用について、コンビニでの使用、保険証としての機能などについて三笠市の現状などお聞きかせください。

【答弁】三笠市民の「マイナンバーカード」の取得枚数は2,870枚、率は35.2%です。取得の取り組みは市内8か所の市民センターや、イオン三笠店での出張申請手続きを行ってきました。今年から毎週木曜日は市役所の窓口を午後7時まで延長して申請手続きを受付けています。健康保険証の機能については三笠市の病院ではまだ対応していません。いずれ運転免許証の機能につながってくることも含め、市民周知して交付率の向上に努めたいと考えています。また、住民票をコンビニから取れるなどの活用は今のところできていません。システム構築に多くの経費が掛かるため、国へ要望していきます。

### ▼その他の質問

【質問】新型コロナウイルス感染症（学校への影響）

▼市民の安全（避難所、大型太陽光発電施設、熊の出没）



只野 勝利

### ▼将来のまちづくりの考え方について

【質問】三笠市が計画している立地適正化計画についてお聞きください。

【答弁】20年後、30年後を見据え、市街地の拡散化を抑制しつつ一定のエリアへの居住や都市機能の立地を緩やかに誘導し、コンパクト化について市民のみなさんに意識してもらい、少しずつ時間をかけて取り組みたいと考えています。現在、コンパクト化については、国においても推奨しているところであり、本市においては、そのための立地適正化計画を令和4年度末までに計画を作成し、今年度については市の地区別人口や年代別人口等のデータ収集を行い、議会や各団体、市民に示し、最終的には都市計画審議会で決めていきます。

【質問】計画が決まった段階での報告ではなく、将来の生活基盤に関わる問題のため丁寧な説明が求められますが、コンパクト化について、市民への説明の時期についてお聞きください。

【答弁】まだ確定していませんが、計画作成が令和5年3月ですので、内容は素案の段階になると思いますが、来年の秋くらいには説明したいと考えています。

### ▼その他の質問

【質問】三笠市食のまちづくり基本条例（食のまちづくりの取り組み）

▼新型コロナウイルスの影響と今後の対策（学校での感染対策、ワクチン接種）

### 定例会議案審議内容

■総合常任委員会

◎CO2固定研究事業

【質疑】北炭幌内炭鉱の資料を九州大学に研究のため寄託していると思うが、今回の事業の文献調査・現地調査をする上で支障をきたす可能性があるのではないか。

【答弁】今回のCO2固定研究事業については、北炭幌内炭鉱、または奔別炭鉱を検討しています。その中で地質に詳しい企業、地層に知見のある企業に関わってもらい文献調査を行っていく予定です。また、NPO法人においても炭鉱の形状に詳しい方がいますので、調査を進めていきたいと考えています。

### ■決算特別委員会

◎保育所・認定子ども園（保育部）の入所状況

【質疑】三笠まつばの杜と三葉保育所では、1年を通して定員どおりに入所できる環境であったのか状況を教えてください。

【答弁】三笠まつばの杜については、0歳児の定員が9名おり、6名の入所に留まり、3名が入所できない状況です。

【質疑】旧炭鉱の坑道の図面、ボーリング調査した部分、埋蔵量などの資料は持ち合わせているのですか。

【答弁】かねてから室蘭工業大学の教授、NPO法人理事長含め、かつての資料の中で調査をしています。ただ、全体の正確な坑道の状況は今後、事業を進めていくにあたって詳細な調査が必要です。今回のCO2固定研究事業については、今いる方達で文献調査を行う中で進めることとなります。

【質疑】今、共働きが多くなってきている中で、三笠は移住・定住や子育て支援をしっかりやっているが、保育士不足により、保育所に入所できない状況では、三笠市に住みたいけれども他市に住むしかないという移住につながるというケースもあります。例えば市外の民間の認可外保育施設と連携していく考え方はありますか。

【答弁】そういった制度もありますので、連携していくことも視野に入れ、体制整備に努めたいと考えています。

# 総合常任委員会所管事項調査

令和3年11月2日開催  
(一部抜粋)

## ▼東清住地区養豚場からの臭気に関する対応について

【質疑】以前に養豚場の改築または移転の可能性を聞いており、他の自治体で土地の取得をする方向で進んでいるという報告も受けておりました。前回の説明時に水源地の確保が課題となつているようでしたが、その課題を解決した上で具体的に土地取得に向けて交渉を進めている段階ということでしょうか。

【答弁】当初、水源の確保は、小川を想定していましたがけれども、中々見つからないため、資金が掛かったとしてもボーリングをして、水源を確保したいと聞いています。

【質疑】改築ではなく完全に移転するという思いでいるということと間違いないでしょうか。

【答弁】あくまでも資金面が解決になった時に移転という話は聞いていますが、現状について、私達としては市外移転を求めていますので、そういった

## ▼除雪体制について

意向で考えてくれていると思っております。

【質疑】令和2年度は特別雪の多い年であり、十分な排雪がされていなかったように思いますが、資料の排雪基準には、車のすれ違いに支障をきたす恐れがある場合に排雪をする説明されていますが、昨年は現実にそういった箇所が多く見られました。今年についてはどのように進めていこうと考えていますか。

【答弁】普段の除雪の時になるべく堆雪場所を確保するという事で、11月広報みかさにも掲載しています。空き地などの私有地を堆雪スペースとして活用させていただけないか検討しています。また、市有地の公園などを含め、道路の拡幅をして雪を押し付けられる場所を確保する対応を考えています。排雪も課題ではありますが、普段の除雪の時にはなるべく道路状況を良くする対応をしたいと考えています。

## 【その他の調査】

- ▼新型コロナウイルスのワクチン接種状況について
- ▼今後の公営住宅の整備について
- ▼キッチンスタジオの利用状況について
- ▼令和3年度工事契約及び進捗状況について

## 議員提出議案

### ●三笠市議会委員会条例及び三笠市議会会議規則の一部改正

今回の改正は、標準市議会会議規則の改正に伴い、9月定例会で条例、規則を議員提案として一部改正したものです。議会への欠席事由を具体化（公務、疾病、育児、看護介護、配偶者の出産補助等での欠席を認めるもの）することと、**多様な住民が議員として活動しやすい環境づくりを整えること**、また、女性の出産に伴う産前・産後に配慮した欠席期間の規定も追加し整備したものです。

### ●可決された意見書

・「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充

実を求める意見書」

・「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書」

・「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」

・「国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級のさらなる前進を求める意見書」

・「特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書」

・「大学生等への給付奨学金制度の拡充を求める意見書」

以上6件の意見書は9月22日に議決し、各関係大臣等に送付しました。

次回の第4回定例会は、12月中旬を予定しています。

開催日時は「広報みかさ」12月号でお知らせします。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

## 議会広報委員会

委員長 畠山 宰  
副委員長 赤川 征視  
委員 折笠 弘忠  
只野 勝利  
澤田 益治

## ご意見・ご要望

市議会だよりについて、より分かりやすく、読みやすい紙面づくりのための参考とさせていただきますので、市民の皆さんからの率直なご意見やご要望をお待ちしております。

【問合先】三笠市議会事務局

〒068-2192 三笠市幸町2番地 ☎②3194 Fax②7880

▶Eメール [gikai@city.mikasa.hokkaido.jp](mailto:gikai@city.mikasa.hokkaido.jp)

▶ホームページ <http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/assembly/>